

付 編

付編1



1. 上幌内モイ遺跡 III GP-01副葬品



2. 上幌内モイ遺跡 III GP-02副葬品

付編2



1. 上幌内モイ遺跡 III GP-03副葬品



2. ラチャラセナイ遺跡 III GP-02副葬品

付編3



1. オニキシベ2遺跡 III GP-04副葬品



2. ショロマ4遺跡 III GP-01副葬品

付編4



1. 上幌内3遺跡 III GP-01副葬品



2. 上幌内3遺跡 III GP-02副葬品

付編5



1. 上槻内モイ遺跡 集中区1出土遺物(1)



2. 上槻内モイ遺跡 集中区1出土遺物(2)

付編6



1. 上幌内モイ遺跡 集中区2出土遺物(1)



2. 上幌内モイ遺跡 集中区2出土遺物(2)

付編7



1. シヨロマ4遺跡 集中区1出土遺物(1)



2. シヨロマ4遺跡 集中区1出土遺物(2)

付編8



1. 上幌内モイ遺跡 鍛冶関連遺物(集中区44及び包含層)



2. 厚幌ダム遺跡群 各遺跡出土鉄鍋

報告書抄録

ふりがな	あつまちよう しょうま 1 いせき(2)
書名	厚真町 ショロマ1遺跡(2)
副書名	厚幌ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	17
シリーズ名	厚幌ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
シリーズ番号	17
編著者名	奈良智法・乾 哲也・宮塚義人・高橋和樹・宮崎美奈子・松井 昭・山戸大知・矢野加奈
編集機関	厚真町教育委員会
所在地	〒059-1601 北海道勇払郡厚真町京町165番地の1
発行機関	厚真町教育委員会
発行年月日	2018年3月9日
ふりがな	しょうま1いせき
収録遺跡	ショロマ1遺跡
所在地	勇払郡厚真町字幌内93-1・2・3
市町村コード	015814
遺跡番号	81
北緯	42° 46' 38"
東経	142° 0' 14"
調査期間	2014年9月2日～10月31日/2015年5月13日～10月31日/2016年5月11～10月31日
調査面積	2014年 853㎡/2015年 7,855㎡/2016年 5,106㎡
調査原因	厚幌ダム建設
種別	集落跡
主な時代	中世アイヌ文化期、縄文文化期、統縄文文化期、縄文時代早期～後期。
主な遺構	中世アイヌ文化期:集中区1ヵ所(焼土・礫集中含む)、焼土2ヵ所、縄文文化期:集中区3ヵ所(土坑・焼土・土器集中、遺物集中含む)、統縄文文化期:土器集中2ヵ所、縄文時代:竪穴式住居跡1軒、土坑墓1基、土坑8基、焼土9ヵ所、Tピット138基、土器集中21ヵ所、礫集中1ヵ所、剥片石器集中3ヵ所、石斧集中1ヵ所。
主な遺物	Ⅲ層:縄文土器、石器、礫 V層:土器(柏木川式、北筒式、余市式)、石器、石製品、石棒。
要 約	
<p>平成26～28年度の発掘調査ではアイヌ文化期、縄文文化期の遺構・遺物が希薄であるが、集中区を4ヵ所検出しており、うち2ヵ所は調査区東側の厚真川段丘縁辺部に分布範囲が認められた。集中区4、7とした範囲は長軸上に並ぶ焼土と礫集中のまとまりがみられたが、柱穴を伴わないため屋外の作業場と思われる。縄文時代においては平成25年度に比べ竪穴式住居跡が1軒と少なく、Tピットの構築率が高いなどから、台地の北側は狩猟場として利用されていたと考えられる。Tピットは規格ごとに幾つかの配列が認められている。</p>	

厚真町 ショロマ 1 遺跡 (2)

—厚幌ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 17—

発行日 平成 30 年 3 月 9 日

編集・発行 厚真町教育委員会

〒059-1601 北海道勇払郡厚真町京町 165 番地の 1

TEL (0145) - 27-2495 FAX (0145) - 27-3178

印刷 ひまわり印刷株式会社